

令和元年度 第2回

JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：令和元年 12 月 17 日（火）14：00～15：00

場 所：JCHO 東京蒲田医療センター 健康管理棟 2 階大会議室

出席者：宮島委員（蒲田医師会監事）

神成委員（特別養護老人ホーム大田翔裕園施設長）

薄井委員代理小林聡様（岩井機械工業株式会社）

指田委員（南蒲田一丁目自治会会長）

平塚委員代理増田様（南蒲田三丁目町会会長）

（東京蒲田医療センター）

石井委員、小名木委員、濱岸委員代理山口副看護部長、菅原委員、鈴木委員

司 会：東京蒲田医療センター院長 石井耕司

【議事内容】

（院長）

本日は、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。令和元年度第2回地域協議会を始めたいと思います。よろしく願いいたします。

1 令和元年度前期業績報告

（1）病院運営状況について

菅原委員より、資料に基づき次の事項について説明を行った。

- | | | |
|------------|---------|---------|
| ①1日平均入院患者数 | ②平均在院日数 | ③手術件数 |
| ④1日平均外来患者数 | ⑤紹介率 | ⑥逆紹介率 |
| ⑦救急搬送患者数 | ⑧健診受診者数 | ⑨訪問看護件数 |

（2）「地域との交流について

鈴木委員より、資料に基づき次の事項について説明を行った。

- | | | |
|---------------|-----------|---------|
| ①大田区救護所訓練 | ②医療情報セミナー | |
| ③第24回地域連携セミナー | ④区民公開講座 | ⑤ミニセミナー |

3 在宅療養に向けての当院の取り組み

鈴木委員より、資料に基づき次の事項について説明を行った。

- | | | |
|------------------|------------------|-------------|
| ①地域包括ケアについて | ②在宅医療推進の理由 | |
| ③アドバンス・ケア・プランニング | ④退院支援・調整の当院の取り組み | |
| ⑤地域包括ケア病棟の役割 | ⑥訪問看護 | ⑦在宅療養後方支援病院 |

4 中期目標への対応

菅原委員より、資料に基づき次の事項について説明を行った。

- ①独立行政法人通則法第29条
- ②救急応需率及び在宅復帰率の現状
- ③当院が所在する地域の特徴
- ④当院の地域における今後の役割

(院長)

当院からの説明は以上ですが、ご質問・ご意見いかがでしょうか。

今日の会議の主要テーマである「当院の中期目標」については、先程説明がありましたようにこの会議の場で委員の皆様のご意見を伺って決定することになります。当院の地域における役割を勘案し、救急応需率85%以上又は地域包括ケア病棟の在宅復帰率85%以上のどちらかを選択しなければなりません。

当院といたしましては、どちらも努力し目指していかなければならない事項と思っておりますが、高齢世帯が多く在宅療養後方支援病院としての役割など地域の特性や当院の役割を勘案いたしますと、「在宅復帰率85%以上」を目標として運営していくことにしてはどうかと考えておりますが、いかがでしょうか。

(宮島委員)

救急についてもこれまでどおりしっかりやっていただけるということでしたので、病院の方針通り当地域の医療事情に見合った目標（在宅復帰率）でよろしいのではないかと考えます。

(院長)

宮島委員から在宅復帰率を中期目標にとのご意見を頂戴しましたが、いかがでしょうか。

(他の委員からも賛同が得られる)

それでは当院の中期目標については「在宅復帰率85%以上を目指す」こととさせていただきます。本日都合により欠席の委員にも後日説明させていただきます。これからも地域に必要とされる医療機関を目指し努力して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。 —閉会—

※ 12月20日 田中委員（南蒲田二丁目町内会会長）へ説明

「年を取ってくるとやはり自宅に戻れるのは何よりである。目標については了解である、今後も地域住民に寄り添う病院としてよろしく願いしたい。」

※ 12月26日 西田委員（大田区保健所長）へ説明

「高齢者社会が伸展していく中、在宅への取組は非常に大切であると考えます。救急も従来どおりお願いするとともに地域包括ケアへの協力等引き続き地域に根ざした病院を目指してください。」

との意見をいただいた。